

懇話会の経過について

1. 懇話会の目的

青葉山公園は、仙台の礎である仙台城跡を含む青葉山と広瀬川に囲まれた区域について、藩政時代からの歴史的・文化的資源や優れた自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備している。

本懇話会は、青葉山公園整備基本計画（平成 25 年 3 月）において「いこい・にぎわいゾーン」に計画されている（仮称）公園センターについて、様々な専門分野の有識者から幅広くご意見を伺い、（仮称）公園センターの基本計画に反映させていくことを目的とする。

2. 委員の構成

建築、造園、歴史、観光、まちづくり等の専門分野の有識者 11 名の委員で構成

3. 開催状況

開催日	内 容
第 1 回懇話会 平成 28 年 6 月 1 日（水）	懇話会の運営、進め方について説明 座長、座長代理の選出 公園センターの計画概要についての説明
第 2 回懇話会 平成 28 年 7 月 19 日（火）	現地視察（国際センター地区、追廻地区、本丸地区） 意見交換 ・公園センターの役割と施設内容について① ・整備イメージについて① ・民間活力の導入と事業者や市民活動団体との連携について①
第 3 回懇話会 平成 28 年 9 月 9 日（金）	意見交換 ・公園センターの役割と施設内容について② ・整備イメージについて② ・民間活力の導入と事業者や市民活動団体との連携について②
第 4 回懇話会 平成 28 年 10 月 25 日（火）	意見交換 ・議論のふりかえりと意見整理について ・懇話会意見のとりまとめについて

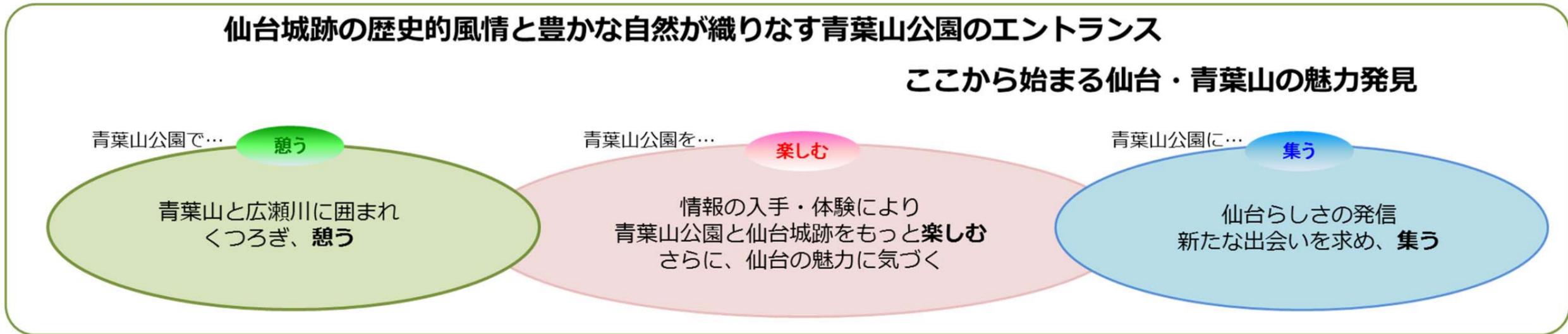
公園センターの役割と施設内容の整理

資料1

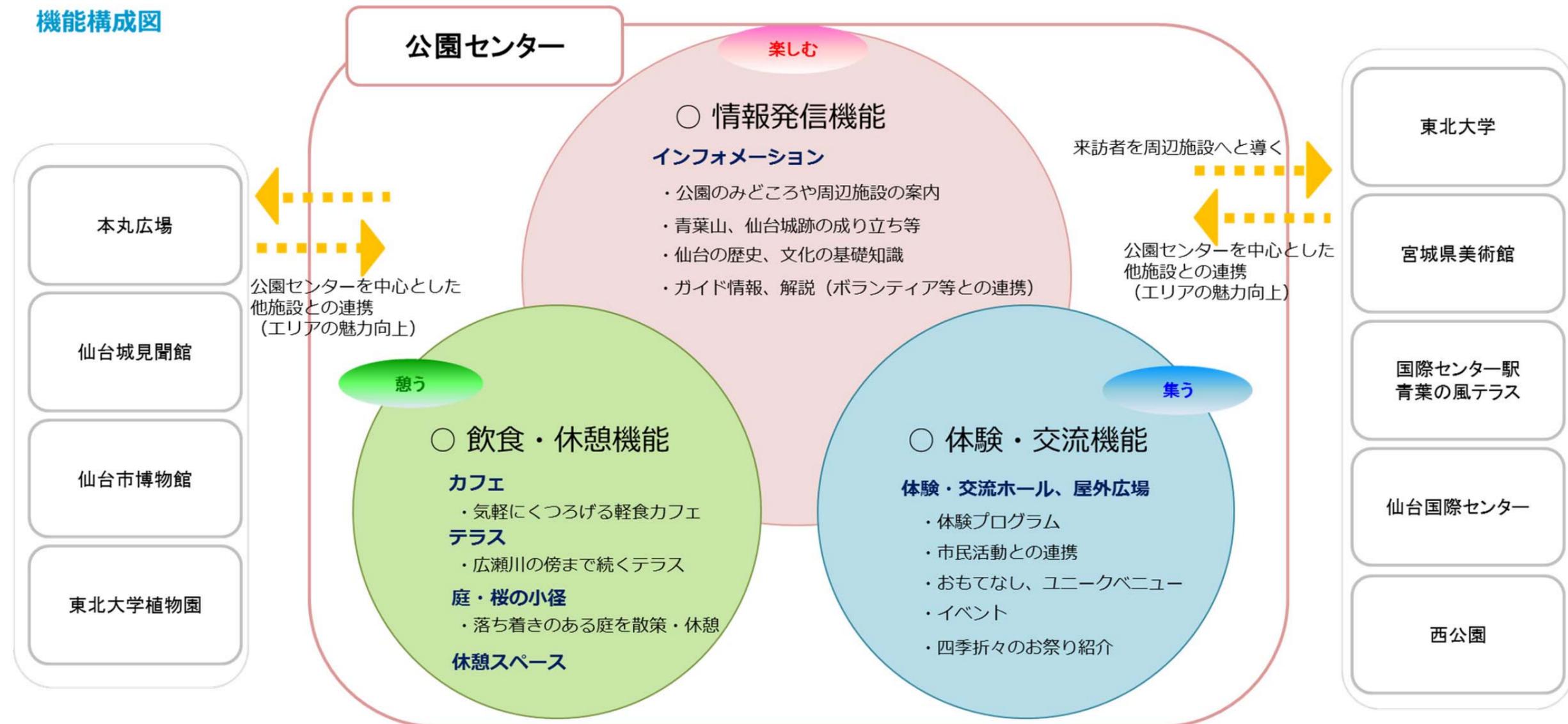
コンセプト

仙台城跡の歴史的風情と豊かな自然が織りなす青葉山公園のエントランス

ここから始まる仙台・青葉山の魅力発見



機能構成図



整備イメージについて

資料2

(1) 検討にあたって

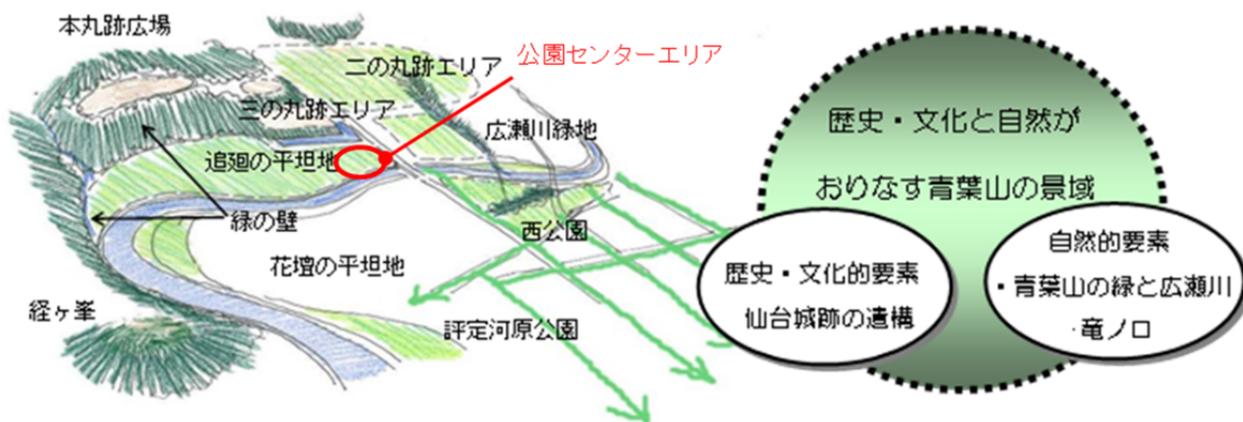
○「整備イメージ」とは？

空間イメージ { 公園センターエリア全体のイメージ
公園センターの建物のイメージ

ランドスケープデザインを行う際の基本的な考え方となるもの

○青葉山公園整備基本計画（平成24年3月）

①公園整備における「景域」(景観領域)の考え方



青葉山周辺地区は、仙台発祥の地としての固有の歴史や文化・自然・風景資源によって成立しているため、公園計画ではこの貴重な資源が一体的に存在している「景域」を有効に活用した公園づくりを基本とする。

②公園センターの整備イメージ

- ・(仮称)公園センターは、片倉小十郎屋敷跡に建設を予定していることから、歴史資料等を参考にした歴史的なデザインの採用を検討する。規模についても文化財発掘調査の成果を参考として機能と並行して検討していく。
- ・片倉小十郎屋敷跡の池は、建築と一体となった庭園風の広場を整備し、茶室等の施設と連携した利用が可能か検討する。



文化財発掘調査の実施
(平成24年度～平成27年度)

片倉屋敷の復元について
文化財調査の結果、位置と規模及び歴史資料との整合性が確認できず、片倉屋敷の全容がつかめない、復元は難しい。

(2) 検討のポイント

青葉山公園にふさわしい整備イメージとはどのようなものか？

- 景観との調和
- 観光、インバウンド
- ユニークベニュー
- 歴史的なデザイン
- 日本らしさ、仙台らしさ

施設配置図

第1回懇話会資料より抜粋

